久留米大学では、受診時に患者さんから取得された診療情報等を使用して下記の研究を行っています。本研究で使用される診療情報等は他の機関への提供は行いません。

なお、下記研究は久留米大学の倫理委員会にて「社会的に重要性が高い研究」等の特例の理由が認められ、研究機関長の承認を得て実施しています。当該研究・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。本研究に関する詳細な情報を希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡下さい。また、本研究の成果は学術や論文等で公表される可能性がありますが、個人が特定される情報は一切公開しません。本研究の研究対象者に該当するとと思われる方又はその代理人の方がで診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者までご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】肝膿十二指腸切除術後出血に対する経カテーテル的治療の予後因子解析の検討

【診療情報の対象者（研究対象者）】
1）受診期間：西暦 2001 年 9 月から西暦 2020 年 3 月
2）受診科：久留米大学病院肝胆膵外科、救命センター
3）対象疾患名：肝膿十二指腸切除術を行い術後出血と診断され、経カテーテル的治療をうけた方

【診療情報等の項目】
診療情報等：【(病歴、診断名、年齢、性別、手術名、手術内容、退院日、カテーテル治療日、カテーテル治療内容、血液検査データ【HbA1c, Hb, アミラーゼ, 赤血球数, 血小板数, PT-INR】ドレーンのデータ、既往歴, CT 画像, DSA 画像, 病理所見, 有害事象, カテーテル治療後の経過等)】

【研究目的】
上記の診療情報を使用し、肝膿十二指腸切除術後出血に対して経カテーテル的治療の予後因子についての解明を目的とした研究実施のため

【研究（利用）期間】久留米大学倫理委員会承認後から西暦 2025 年 6 月まで

【利益相反に関する事項】
本研究は特定企業からの資金援助はないため利益相反は発生しません

【問い合わせ先】
研究責任者（使用する情報の管理責任者）：久留米大学医学部放射線医学講座助教 久木山 智子
問い合わせ担当者：久留米大学医学部放射線医学講座 久木山 智子
電話：0942-31-7576（内線 3790）
E-mail: kugyama_tomoko@med.kurume-u.ac.jp

研究番号 20097